

緩和ケア医のコア・コンピテンシー

(緩和ケア医に期待される特性)

2015年9月

日本ホスピス緩和ケア協会 教育支援委員会

医師教育支援部会

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者と家族の QOL を改善するアプローチである。緩和ケア医はその目的のため、以下の7つのコンピテンシーを身につけることが期待される。

1. 全人的ケア

患者・家族を全人的にとらえ、身体的だけでなく、精神的、社会的、スピリチュアルに把握し支援することができる。全ての関わりにおいて、患者・家族を一人の人間として尊厳をもって接することができる。

2. コミュニケーションスキル (癒しを含め)

患者・家族へのスピリチュアルケアを含めた癒しのまなざしを持ち、希望を支え、互いに伝え伝えることを通して、患者自身の力を引き出すことができる。

3. 症状緩和力

医学的判断や技術に優れ、苦痛となる症状を早期から認識し、適切な評価と対応をすることで、速やかに緩和することができる。

4. チームケアの実践

患者と家族を支える多職種のチームにおいて、個々の力を引き出し、総合力が発揮されるチームを育むことができる。

5. 医師・人間としての態度

愛、誠実さ、謙虚さ、柔軟性、思いやりをもち、学ぶ姿勢を持ち続けることができる。

6. 看取り

臨終前から死別後に至るまで、患者と家族に尊厳をもって配慮することができる。

7. セルフケア

自分自身を知り、バランス感覚を持って、自分やチームのストレスマネジメントをすることができる。